



2012年7月入職

みずたにまさよ  
水谷昌代

## 全ての人に対して、接し方を変えない

### 揺るぎない自分の軸を大切に

「淡々としているけど優しいから好き」。以前、ある患者さまにそうおっしゃっていただいたことがあります。私はスタッフや患者さまを含め、全ての人たちに同じ態度で接するように心がけているので、そのスタンスに好感を持っていただけたのはうれしかったですね。淡々とはいえ、冷たく割り切って仕事をしているわけではありません。相手に合わせて接し方を変えるのではなく、対応する全ての方に敬意を持ち、丁寧に接することを心がけています。

以前はそんなスタイルで良いのかと悩んだこともありましたが、もっと意見を言った方がいいとか、感情を分かりやすく表に出した方がいいだろうかと。でも、どんな場合もまずは相手の話を聞くこと、その姿勢を変えずにいることは良いことなのだと思うようになりました。これは揺るぎない自分の軸なのだと。スタッフからも「みんなに同じ態度でいるよね」という言葉をかけられたことがあって、やはりこれは自分のカラーなのだと前向きに受け止めています。



### チームとしての連携を高めていきたい



前職では集中治療室（ICU）で働いていたので、腎臓の重要性を身に染みて感じていました。透析看護を志すようになったのは、腎臓という分野をもっと掘り下げていきたいという動機が大きかったですね。当時はとにかく適切な処置をすることが最優先でしたが、透析医療に携わるようになってから、より患者さまとのかかわり合いを意識するようになりました。例えば「普段はよく喋っている方なのに、今日は言葉数が少なくていつもと様子が違うな」など、

日々の細かい変化に気を配っています。そこから検査をしてみると、貧血だったことが分かり、早い段階で対処できたこともありました。忙しくなると隅々に目を行き届かせるのは難しくなりますが、カンファレンスなどの場で、チームとしてどう対応していくべきかを、みんなで話し合っています。個人の成長はもちろん、チームで連携するからこそなし得る医療も、今後は突き詰めていきたいですね。

関わる全ての人達に  
丁寧に向きあえる  
信頼される看護師でありたい

水谷昌代